

# 令和6年度 第2回 学校運営協議会記録

	学校名	弘戸小学校
開催日時	7月2日（火）10時30分～12時	
出席者名	学校運営協議会委員 9名 鈴木誠孝（会長）、海道利夫（副会長）、三浦金悦、鈴木昭博、山田真由美 小松貴典、伊藤睦子、小玉和彦（校長）、秋山真貴子（教頭）	
協議内容 委員発言内容 等	<p>※会次第は別紙「男鹿市立弘戸小学校 第2回学校運営協議会」参照                      ※参観授業は別紙「参観授業一覧」参照</p> <p>○学校経営の重点に対する取組（5月と6月）                      ※別紙「令和6年度学校経営の重点に対する取組（5月と6月）」参照</p> <p>○各委員から（要旨抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は授業に集中して生き生きしており、よく育ててもらっている。少人数のよさを生かし、ICTを活用しながら児童を育てていると感じた。</li> <li>・保育園でも自己肯定感が低いので職員が褒め上手になる必要がある。弘戸小の先生方は、タイミングよく具体的に子どもを認めている。</li> <li>・2年生が生活科で園に来たとき園児は大喜びであった。秋になると木の実も落ちているので、雑木林でも一緒に遊べたらよいと思う。</li> <li>・地域のことをうまく勉強させており、3年社会の農業の学習はレベルが高いと感じた。</li> <li>・子どもたちが自主的に閉校について考え行動しているのがすごい。</li> <li>・スクリーンタイムコントロール期間が始まり、子どもにテレビを見るのはだめだと言われた。よい取組であると思う。</li> <li>・菜園の草取りは、学校運営協議会委員の方から手伝ってもらってよかった。昨年と同じくらいの収穫があることを期待している。</li> <li>・放課後子ども教室のアート教室の作品を展示してもらってありがたい。来週の夏祭りも委員の皆様にも協力していただきたい。</li> <li>・船越小の内覧会に参加したが、机の数に子どもが圧倒されていた。今のよい状態が変わることが不安である。</li> <li>・5年生以下は統合となるが、事前の交流をやってスムーズに統合できるとよい。東中に進学する6年生へのフォローも必要かもしれない。</li> <li>・統合後地域をどう残すのか課題である。弘戸小を新築した中田五平の顕彰会の会計を引き受けたが、学校も絡めて活動できたらと考えている。何かよい知恵はないものか。子孫を閉校式に招待してはどうか。</li> <li>・男鹿北中のなまはげ太鼓や五里合の梨などのように、弘戸地区として残してもらいたいことを船越小へ伝えた方がよいのではないか。</li> <li>・昔は道徳で渡部斧松について学んだ記憶がある。船越小でも斧松を学んだらどうか。</li> </ul>	